

# うえるサポ 導入事例集①



「利用者さんに合ったサービスを提供するために、利用者さんの記録の精度をよくしたいと思っていました。」  
きくのか福祉会 出屋敷の里  
管理者 平尾悦男氏



## 社会福祉法人きくのか福祉会 出屋敷の里

大阪府枚方市の就労継続支援 B 型及び生活介護事業所です。知的障がいのある方の通所施設で、就労をめざす障がい者の方の職場実習や社会生活に必要な指導・支援・援助を行っています。

- 目次
- 現場の目線を入れて、システム作りに関わる
  - 利用者の情報の精度で、提供するサービス内容は変わる
  - 制度が変わりやすい請求機能は、あえて切り離す

### ■現場の目線を入れて、システム作りに関わる

ー『うえるサポ』の仕様作成に携わられたそうですが、その際に一番ポイントと考えられた点はどのようなものでしたか？

①施設利用者に関する情報の精度向上、②職員間で情報共有できる仕組み、③書類作成の時間短縮 の三点です。今までは行政の監査が入ると、求められる書類を作成するのに相当の時間をとられていました。二日、三日徹夜とかそのくらい。普段の記録をつける以外にもそんなことがあるので、そういう時間はなるべく短縮して、本来の利用者さんへのサービスに時間をかけていきたくかったので、そのための仕様を盛り込んでもらっています。

## ■利用者の情報の精度で、提供するサービス内容は変わる

ー利用者の情報の精度をあげたいと思ったもと、つまり施設が持っていた利用者の情報の精度がよくないと思っていたのはなぜですか？

利用者さんは複数の施設、複数のサービスを利用している場合があります。昼間の施設での様子と、夜に別のサービスを受けているときの様子は違っている可能性があります。家でご家族と一緒にいる時はまた違った様子かもしれない。その利用者さんに合ったサービスを提供するためには、利用者さんの正確な状態なり精度の高い情報が欲しいと思っていました。

他には、職員間の申し送りについてです。利用者さんのことで気をつけて欲しいことがあったりすると、それを職員同士が口頭伝達していました。すると、やはり言い忘れ・伝え忘れがあって、利用者さんの情報をうまく職員間で共有できないので、そこはなんとかしたいと思っていました。情報があっても、ちゃんとそれを共有する仕組みがなかったんです。

ー『うえるサポ』を導入して、情報の精度は実際にあがりましたか？

あがりつつあります。基本アセスメントにあたる『うえぶサポ』にアクセスするための URL、ログイン ID、パスワードを利用者のご家族に渡して、内容を確認していただくようにしています。ご家族やご本人から見て違っている部分を修正したり、内容を追加もできます。施設での聞き取りだけでなく、ご家族からの情報がいただける仕組みができています。

ー施設職員同士では変化がありましたか？

基本アセスメント『うえぶサポ』もそうですが、申し送りなどウェブ・システムは施設の外にいても確認ができますので、職員間の情報共有がかなり楽にできるようになりました。出張していても問題なく確認ができます。出張先でケース確認ができますよ。

その記録を書いていない職員に未確認の情報があることを知らせちゃんと読ませる仕組みがあるので、自分が見ていない情報の存在を感じて職員の意識が変わってきました。それから、読まれることを意識するのが文章が上手くなりましたね。

## ■制度変更の影響を受けやすい請求の機能は、あえて切り離す

ー『うえるサポ』には福祉施設向けシステムによくある請求に関連する機能がありません。あえてそれを『うえるサポ』の機能に入れなかった理由を教えてください。

うちの施設がある大阪府枚方市は紙媒体にハンコを押しての手続きが必要なんです。それは毎日あります。また毎年請求する額が制度により変わります。だから利用者の情報を管理するシステムとつなげる必要性を感じませんし、実際にその必要はないと考えています。つなげていても、制度の変更の度にシステムも変更しなくてはなりませんので、請求に関してはこのシステムと別にある方がいいと思っています。

請求についてはどの職員でも扱っていい情報ではないので、そういう意味でも利用者さんの情報とは違う扱い、別のシステムであるのがいいのです。



# うえるサポ 導入事例集②



「利用者さんの記録をつけるための  
残業がなくなりました。  
時間を選ばずすぐ入力するので、  
正確な記録ができます。」

なかま福祉会みつき

施設長 平尾幸子氏



## 社会福祉法人なかま福祉会みつき

大阪府大阪市城東区の就労継続支援 B 型・生活介護事業所です。障がいのある方の自立と社会経済活動を促進すべく、施設内で内職と店舗型支援を行っています。

- 目次
- 必要な書類を書くために残業する現場を改善したい
  - システムのおかげで時間を選ばずに書類を作成できるように
  - 思わぬ効果・・・遅刻なし、PCスキルがアップ

### ■必要な書類を書くために残業する現場を改善したい

ー『うえるサポ』を導入して解決したいことはなんだったのでしょうか？

福祉施設として毎日サービスを提供する上で、書いておかななくてはならない書類がたくさんあって、それを書く時間を作ることに苦労していました。なんとかやりくりして、ちゃんと書類に必要なことを記録しておきたい。サービスの向上という点でもそうですし、行政の監査が入ったときの対策としての意味もありました。記録の保管義務もありますし、とにかくいろんな記録を書いて残しておかななくてはならないので大変です。

ー書類を作るために残業が多かったとお聞きしていましたが、それはなぜそうなるのでしょうか？

書類を書くには、机に向かって下を見て書きますので、書いている間は利用者さんがそこにいても目を離すことになりません。なので、利用者さんがいる時間は書類を書くことを極力避け、見ていないときに事故があってもいけませんし、書いていると利用者さんが「何してるの？」って話しかけてきたりするので、書こうにも集中して書くことはできません。そうすると、利用者さんが帰った後に、書類を書くために残業することになるのです。

### ■システムのおかげで時間を選ばずに書類を作成できるように

ー『うえるサポ』を導入して、書類作成にどのような変化がありましたか？

指導日報にしてもケース記録にしても、書く時間帯を選ばなくなり、手書きではないので書く時間も短縮されました。時間を選ばない点では特にケース記録がすぐ書けるので、以前では後で書くために内容があやふやになりがちだったのですが、今は記憶が新しい間に正確に書くことができます。時事的な記録については一般的に内容の精度が上がりました。

また、利用者さんのそばでパソコンを使ってシステムで入力していても大丈夫なんです。「何してるの？」と（利用者さんに）聞かれても、「パソコンしてるの」って答えると納得してくれて、それ以上追及がないんです。訓練でパソコンをしたりするからかもしれません。だから、話しかけられてもすぐにまた入力作業に戻って続きを書いていけるんです。入力は鉛筆で書くのと違って下を向かずにできますので、入力しながら利用者さんが見えるのもいいです。

ー『うえるサポ』の中に入っているサポートブックシステム『うえぶサポ』は使われていますか？

基本アセスメントとして使っています。利用者のご家族に施設に来ていただいて、いろいろ聞きながら入力していています。今まで聞いていなかった項目があり、そのとき初めて聞くこともありました。詳しい利用者さんの情報が登録できて、親御さんには喜んでいただいています。施設で細かいことまで把握してもらっていると、安心なんだと思います。

### ■思わぬ効果・・・遅刻なし、PCスキルがアップ

ー『うえるサポ』には福祉施設向けシステムによくある請求に関連する機能がないことはどうですか？

請求には別のソフトを使っています。担当している職員はひとりだけなので、特に『うえるサポ』とそのシステムをつなげる必要はないと思っています。

ー『うえるサポ』導入で、他によかったこと・悪いことがあれば教えてください。

以前は職員の出社・退社をタイムカードで管理していたのですが、このシステム導入後は出社してシステムを立ち上げて、画面で出社ボタンを押すんです。なぜか、そうするようになってから遅刻がなくなりました。他には、毎日パソコンで入力するので、職員のPCスキルがアップしました。悪い効果ではありませんが、あまり状態が変わらない利用者さんもおられるので、定型入力の機能がもっとあればいいかなと思います。

